

ステップⅠ

ステップⅡ

ステップⅢ

ステップⅣ

卒後教育プログラム

【卒後1年目】
基礎看護技術の修得ができる

【卒後2年目】
1. 受け持ち看護師として看護計画を立案し、実施・計画・修正ができる
2. 受け持ち看護師として自立し、科学的根拠に基づいた事例の記述ができる

【卒後3年目】
事例研究の方法を学び、論文作成過程を通して自らの看護観を明らかにする

【実習指導者】
実習指導者の役割を理解し、実習指導の方法を学ぶ

【リーダー】
リーダーとして視野を広げ、組織の中で自らの役割を自覚する

【プリセプター・匠ナース】
・プリセプターシップを理解し、プリセプターとして効果的な新人指導の方法を学ぶ
・新卒看護者の日常生活技術を安全・確実・効果的に指導する方法を学ぶ、またプリセプター支援について学ぶ

専門看護師
(日本看護協会での資格要件に合格した者)
スタッフ機能の係長級からスタートする。

大学院修士課程終了

認定看護師
(ある機関で必要な研修を受講し、日本看護協会での資格要件に合格した者)
スタッフ機能の係長級からスタートする。

豊中市認定看護師教育専門課程派遣研修及び修学部分休業制度利用を承認された者。

キャリアコース

【手術看護】
手術を受ける患者・術中看護・麻酔が理解でき、術前・術後の看護に役立てることができる。

【集中ケア】
集中ケアを必要とする患者とその家族の特徴を理解し、重症化を避けるための看護や早期回復に向けた看護を実践できる。

【慢性心不全看護】
慢性心不全患者の身体的・精神的特徴を理解しアセスメントに生かすことで、急性増悪の予防、QOLを高めるための看護ができる。

【皮膚・排泄ケア】
スキントラブルの予防から発生後のケア方法の知識・技術を習得し、実践に生かすことができる。

【摂食・嚥下障害看護】
摂食嚥下障害を持つ患者への看護を理解し実践できる。

【脳卒中リハビリテーション看護】
脳卒中を発症した患者の身体的・心理的・社会的に及ぼす影響を多側面からとらえる事ができ、生活再構築に向けた看護実践を行うことができる。

【がん看護】
①がん患者に関する知識を深めることができる。
②がん患者の家族の苦痛のアセスメント・マネジメントを深めることができる。

【がん化学療法看護】
①抗がん剤の基本的特徴と実施時の基本的注意点について知ることができる。
②抗がん剤における有害事象について、及びそのケア方法について知ることができる。

【がん放射線療法看護】
放射線治療の基礎や、各照射部位における有害事象を理解できる。放射線治療有害事象に対し、個々の患者に合わせた予防・ケア方法が実践できる。

【がん性疼痛看護】
がん性疼痛の特徴やオピオイドについて理解し、看護が実施できる。

【認知症看護】
認知症者の身体的・心理的・社会的側面を包含した統合的アセスメントを症状に応じたコミュニケーションを活かし、看護を実施することができる。

【救急看護】
急変回避及び急変時対応に必要な知識・技術を理解し、看護が実践できる。

【看護研究】
看護研究のプロセスを理解し看護研究を行い、学会で発表する。また、先行研究を含めて、看護研究の成果を臨床の看護場面に応用することができる。

【看護倫理】
倫理的視点をもって日々の看護ケアを行うことができる。臨床倫理事例検討の方法を理解し、所属部署においてカンファレンスを実施できる。

【感染管理】
各部署において実践できる感染対策を習得することができる。

受け持ち看護師として自立する

クリニカルラダー STEP 3 を目標に臨床実践能力の向上を図る

専門職業人としての責務をはたし、クリニカルラダー STEP 4 をクリアする

臨床実践・教育・管理

院内教育

院外教育

- 大阪府看護協会短期研修、学会
- 日本看護協会短期研修、学会

- 大阪府主催実習指導者、看護教育養成講習会
- 自治体 主任・看護師長研修

- 看護協会ファーストレベル、セカンドレベル、サードレベル